古石ひでさと5期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石 後援会だより

URL：http://古石.com/

第３２２１号
発行日　令和２年６月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２６－２２２６

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

道補正予算案　経済活動再生に２３４１億円

経済活動再生に2341億円

過去最大総額3677億円

道補正予算案

道は22日、新型コロナウイルス対策の第4弾となる総額3677億6700万円の本年度一般会計補正予算案を開会中の第2回定例道議会に提出すると発表した。道の補正予算としては過去最大規模で、中小企業への無利子融資の拡充や市町村の商品券事業の支援など経済活性化策を柱とし、医療・福祉の体制強化にも手厚く予算を充てる。

（2面＝道のコロナ対策累計5千億円）

今回の補正予算は4月の国の第2次補正予算の成立を踏まえたもので、24日に道議会に提出する。新型コロナ対策の本年度の補正規模は今回を含めて累計5088億円になる。道の無利子融資と連動した金融機関の融資枠などを含めたコロナ対策全体の規模は新たな予算補正により8771億円増の累計1兆2793億円となる。

第4弾の対策では、柱となる経済活動の再生に2341億円を計上した。このうち2026億7600万円は中小企業向けの無利子融資の原資となる金融機関への預託金で、これにより無利子融資枠は金融機関分も含めて7千億円増の1兆円に拡大される。

道内市町村が発行するプレミアム付き商品券への支援として36億100万円、修学旅行の際に借り上げるバスの台数や宿泊部屋数を通常より増やす感染防止策に11億8600万円を盛り込んだ。さらに外出自粛などで経営難に陥った鉄道やバスなど交通事業者が割引乗車券を発行する経費や、道産食品の販促も目的に物産展やネット通販で割引販売する経費を補助する。

感染の第3波に備えた医療・福祉の体制強化には1293億円。このうち医療機関が感染者病床の確保に要する経費として507億5300万円、医療・介護従事者への慰労金支給事業に287億4400万円を計上。消毒経費など感染防止策への補助費として医療機関には253億9800万円、福祉施設には134億4600万円を支出する。感染有無を調べるPCR検査機器も増やし、1日の検査能力を200人増の1700人に増強する。学校教員の負担軽減策として学習指導員を配置し、住民税非課税の低所得世帯の公立高校生ら約1万3千人にオンライン学習のための通信費として1人1万円を支給する。（内藤真太、鷹羽晴行）

経済活動の継続と段階的拡大　2341億円
- 実質無利子・保証料なしの融資枠拡充（2026億7600万円）
- 交通事業者が発行する割引乗車券への支援（10億円）
- 市町村が発行するプレミアム付き商品券への支援（36億100万円）
- 百貨店やネット通販で道産食品を販売する際の割引経費（6億2千万円）
- 修学旅行の際の感染防止策に対する補助（11億8600万円）

第3波以降に備えた医療提供体制の充実強化　1293億円
- 感染者受け入れのための病床確保に伴う経費（507億5300万円）
- 医療従事者等への慰労金支給事業（287億4400万円）
- 医療機関の感染拡大防止策への補助（253億9800万円）

社会生活・文化活動の継続と安心の確保　43億円
- 学校教員の業務負担軽減を図るために学習指導員らを配置（15億6900万円）
- 道立学校の感染症対策経費（7億8300万円）

道が新型コロナウイルス対策の第4弾補正予算案に盛り込む主な事業

道コロナ補正 累計5千億円

道の新型コロナウイルス対策費は今回の第4弾を含めると5088億円に達する異例の規模となり、当初2兆8千億円超だった本年度一般会計は18%増の3兆3千億円超に膨らんだ。大半は国の予算を財源とし、今のところ道の独自負担は少ないが、コロナ禍で打撃を受けた道内経済の動向によっては持ち出しは増えかねず、税収減も見込まれるため、道財政が一層厳しいものになる可能性がある。（1面参照）

異例規模、財政難に拍車も

道の新型コロナ対策の臨時交付金などで、道の独自財源は財政調整基金の取り崩しによる32億円程度だ。本年度当初に計上した東京五輪経費約9億円を含む予算の減額などで約27億円の新たな財源を捻出し、実質的な道の負担は5億円程度に収まっているという。

ただ、今後の感染動向や経済の回復状況によっては独自の追加対策を余儀なくされ、生活保護費などの支出が増加することも想定される。

一方、自動車税や法人税など道税納付の猶予の認定件数は19日時点で22262件、計6億4600万円に上り、税収減も加速しかねない。

道の借金は6657億円で、予算のうち借金返済に充てる実質公債費比率は本年度末で20・8%になると推計される全国一厳しい状況になることも想定される。国に減収補填など地方財政への影響緩和策を要望していきたい」と話している。（村田亮）

医療従事者へ道産品ギフト

道は22日、第4弾の新型コロナウイルス対策で、感染者の治療や介護に10日以上従事した医師や看護師、介護関係者らに1人当たり1万円分の道産品カタログギフトを贈ると発表した。地域医療を守るとして募っている寄付「エールを北の医療へ！」を財源とし、2億6千万円（2万6千人分）をギフト代に充てる。

寄付は道が4月末から「医療従事者らへの支援や医療用資機材の整備などに充てる」としてふるさと納税の仕組みを使って募り始め、6月22日時点で全国から約3億9100万円が集まった。

第4弾のコロナ対策費を柱とする本年度一般会計補正予算案には、このうち3億6千万円を計上し、カタログギフト以外では感染者の移送に使う専用車26台の購入費860万円、福祉施設向けのマスクやガウンの購入費1400万円を盛り込んだ。人工呼吸器や人工心肺装置「ECMO（エクモ）」など重症患者の救命に必要な医療機器の購入は見送った。

道保健福祉部は22日の記者会見で、カタログギフトの贈呈について「寄付をした方々から『直接、医療従事者のために使ってほしい』という意見が多く寄せられていることを踏まえた」と述べた。（高橋淳道）

道、支援用寄付財源に

2.6万人に1万円分ずつ

道の新型コロナ関連予算

第1弾	277億3400万円（3月25日の第1回定例道議会最終日に可決）	感染者の急増に備えた病床確保の費用や中小企業への低利融資貸付金
第2弾	784億4400万円（4月28日の臨時道議会で可決）	実質無利子の融資制度創設や休業要請に応じた事業者への支援金
	48億6000万円（5月15日に専決処分）	休業要請に応じた事業者への追加支援
第3弾	300億4700万円（6月16日の第2回定例道議会初日に可決）	道民の道内旅行代金を補助する「どうみん割」や1次産業への支援
第4弾	3677億6700万円（7月3日の第2回定例道議会最終日に採決予定）	実質無利子の融資制度の拡充や医療機関の病床確保に要する補助経費

松浦氏除名は違法

札幌市議会訴訟　地裁、取り消し判決

議会の議事を強引に進めたとして昨年6月、札幌市議会から除名処分を受け、失職した松浦忠氏（80）が、同市議会を設置する札幌市に対し、除名の取り消しなどを求めた行政訴訟の判決が22日、札幌地裁であった。

除名後の議員報酬月額約90万円と半年ごとの期末手当約210万円を松浦氏に支払うよう命じた。

判決によると、松浦氏は昨年5月、市議選後初の市議会で臨時議長に就任。新議長を慣例の最大会派から選ぶ申し合わせに反して、除名の代理人によると、議会による議員の除名を取り消す司法判断は異例という。（26面＝解説・自制促す）

武部裁判長は市に対し、武部知子裁判長は「重すぎる違法な処分」として、除名を取り消した。札幌市議会は「判決内容を精査し、今後の対応を検討する」（内藤真太、鷹羽晴行）

席空けて 再開の一席

札幌市のカナモトホール（札幌市民ホール）で約3カ月ぶりの公演「柳家三三独演会」が22日、開かれた。新型コロナウイルス感染拡大防止へ政府が呼び掛けた行動制限が19日に緩和されたばかり。来場者は久々の生の落語を堪能した。

検温や消毒のため、予定では開演30分前だった開場時間を2時間前倒し。約1500席の会場を1席ずつ空け、約300人を迎えた。千席を超える規模の札幌のホールではコロナ禍以来、初の公演再開となった。

余裕のある座席を前に、三三さんは「空間をせいたくに使えてありがたい」など軽妙な語りを披露。江別市の可児沙也香さん(31)は「生で聞く落語はいいですね。文化イベ

迷走するミサイル防衛

地上イージス停止、代替策示せず

違約金 日米関係に影

「失政隠し」か「敵基地攻撃能力」が急浮上

米国製の地上配備型迎撃システム「イージス・アショア」配備計画の停止で、安倍政権の防衛政策が揺らいでいる。地上イージスの代替策は定まらず、今後の日米関係に影響を与えかねないとの懸念もくすぶる。安倍晋三首相は敵国のミサイル発射を抑制に破壊する「敵基地攻撃能力」の保有を検討する考えを示し、2013年に閣議決定した国家安全保障戦略の初改定も視野に入れるが、突如の方針転換による「失政」の見方もしばしばの批判もある。（仁科裕章）

「北朝鮮がミサイルを頻繁に発射していた。イージス・アショア導入の決定が間違っていたとは思わない」

米国が2017年に安倍首相に売り込んだ。さらに外出自粛などで経営難に陥った鉄道やバスなど交通事業者が割引乗車券を発行する経費や、道産食品の販促も目的に物産展やネット通販で割引販売する経費を補助する。

感染の第3波に備えた医療・福祉の体制強化には1293億円。このうち医療機関が感染者病床の確保に要する経費として507億5300万円、医療・介護従事者への慰労金支給事業に287億4400万円を計上。消毒経費など感染防止策への補助費として医療機関には253億9800万円、福祉施設には134億4600万円を支出する。感染有無を調べるPCR検査機器も増やし、1日の検査能力を200人増の1700人に増強する。学校教員の負担軽減策として学習指導員を配置し、住民税非課税の低所得世帯の公立高校生ら約1万3千人にオンライン学習のための通信費として1人1万円を支給する。（内藤真太、鷹羽晴行）

フォーカス FOCUS

山崎ワイナリー 2年連続 最高賞

「日本アワード2020」

空知計8カ所入賞「品質に高

日本ワイナリーアワード2020の空知管内の入賞者

評価	内容	ワイナリー・ヴィンヤード
五つ星	多くの絞精・ヴィンテージの優れた品質のワインを生み出す	山崎ワイナリー（三笠）
四つ星	品質に自信を持って安定感のあるワインを生み出す	KONDOヴィンヤード（岩見沢、三笠） ドメーヌ・ヒロセ（岩見沢） ナカザワヴィンヤード（岩見沢）
三つ星	安定感があり品質の良いワインを生み出す	イレンカ（岩見沢） 十月ワイナリーNOWA WINERY（三笠） 富本ワイナリー（岩見沢） 富本ヴィンヤード（三笠）

五つ星の評価を受けた山崎ワイナリーの山崎さん（左）と醸造家を務める

クロマグロ取れ過ぎ

南茅部 既に枠の9割 放流、休漁 対応に苦慮

定置網に入り込み水しぶきを上げるクロマグロ（南かやべ漁協提供）

【函館】4月に始まった2020年度の日本海北部系群クロマグロが大量に入り込み、今期の漁獲枠61トンの9割に達する事態となっている。21日までの漁獲量は55トンと前年同期比で約4倍に急増。漁業者は操業を終わるのを避けるため、網に入った魚を放流したり、休漁するなど対応に苦慮している。

南かやべ漁協の今期のクロマグロ漁は11月ごろまで。同漁協によると、例年クロマグロは6月下旬～8月頃に定置網に入り始めるが、今期は3週間ほど早い。魚体は2～3割小さく、大型魚（50キロ以上）が多い。漁獲量も前年同期の約4倍となるサバ・イワシが大量に北上しそれをマグロが追ってきた」とみる。

同漁協の大型クロマグロの漁獲枠は18日現在、漁獲量が体長85～200cmの8割に達し、資源回復のために設定された同漁協の漁獲枠にも迫る。そのため今後の漁獲量は減少し、9月1日以降は1トンどころか1匹たりとも許されない。同漁協は「一時に網に入ったサバやイワシなどを狙って入ってきたクロマグロが、網から出ていくのかどうかも分からない。同漁協の組合長理事も「クロマグロの漁獲枠を大幅に増やしてほしい」と話すが、今後どれだけの魚を逃がすのかが悩みどころだ。

同漁協は2017年に定置網の漁獲枠を大幅に減らし、資源回復に協力してきた。枠を超えないよう、1日当たり8千匹、19年は1万2千匹を放流した。

国際資源管理機関のまとめによると、クロマグロの資源量は近年回復傾向にある。同漁協の中村主任漁業指導員は「枠を超えることは『悪』と断ずれない。現状の資源管理に理解を求め、日も強い漁枠を維持したい」と話す。（川端裕樹）

医療従事者へ道産品ギフト

道は22日、第4弾の新型コロナウイルス対策で、感染者の治療や介護に10日以上従事した医師や看護師、介護関係者らに1人当たり1万円分の道産品カタログギフトを贈ると発表した。地域医療を守るとして募っている寄付「エールを北の医療へ！」を財源とし、2億6千万円（2万6千人分）をギフト代に充てる。

寄付は道が4月末から「医療従事者らへの支援や医療用資機材の整備などに充てる」としてふるさと納税の仕組みを使って募り始め、6月22日時点で全国から約3億9100万円が集まった。

第4弾のコロナ対策費を柱とする本年度一般会計補正予算案には、このうち3億6千万円を計上し、カタログギフト以外では感染者の移送に使う専用車26台の購入費860万円、福祉施設向けのマスクやガウンの購入費1400万円を盛り込んだ。人工呼吸器や人工心肺装置「ECMO（エクモ）」など重症患者の救命に必要な医療機器の購入は見送った。

道保健福祉部は22日の記者会見で、カタログギフトの贈呈について「寄付をした方々から『直接、医療従事者のために使ってほしい』という意見が多く寄せられていることを踏まえた」と述べた。（高橋淳道）